

中学3年 起業家教育「会社をつくってみよう」（ビジネス体験）について

1 起業家教育について

本校は経済産業省による「起業家教育促進事業」の実践協力校として千葉県教育委員会の指定を受けて研究を進めている。起業家教育促進事業とは、起業家マインドを育むような教育プログラムを総合的な学習の時間などの授業の中に普及・定着させていくことを目的としている。また、体験・参加型の起業家教育プログラムを複数の「モデル自治体」で実施し、その普及・自立・定着と周辺自治体への影響・波及効果をねらった事業である。今回は、株式会社ギジネスの協力を得て、ビジネス体験プログラムを実施することになった。

このプログラムは、コンピュータ上で屋台の出店を疑似体験することを通して、社会人として求められるコミュニケーション能力、情報活用能力、主体的な意思決定能力の向上が期待できる。〔中学3年展開例「会社をつくってみよう（ビジネス体験）」〕

2 目的

- (1) グループで協力して出店することにより、各自の役割を認識させるとともに、コミュニケーション能力を高めさせる。
- (2) いろいろな情報を分析することにより、将来を予測する能力を高めさせる。

3 指導計画と評価計画(6時間扱い)

| 時数 | 目標および活動内容 | 評価規準 |
|-----------|--|---|
| 1 | ◎職業人の考え方や技術を身につけることの大切さを知る。 ・コンピュータのプログラム上でシミュレーションを行う。 | ・コンピュータやソフトウェアの取り扱いに慣れ、学習をスムーズに行うことができる。 |
| 2 | ◎グループ内での意思決定が適切にできるようにする。 ・コンピュータのプログラム上で屋台の出店計画を立てる。 | ・グループで協力しながら、屋台の出店計画を立てることができる。 |
| 3 | ◎プレゼンテーションの準備で自分の役割を把握して活動することができる。 ・出店計画を見直し、グループごとにプレゼンテーションの準備をする。 | ・出店計画のプレゼンテーション準備を行い、自分の役割を把握して活動することができる。 |
| 4 | ◎プレゼンテーション活動によりコミュニケーション能力を高めることができる。 ・グループごとに出版計画の発表をする。 | ・自分たちのグループの出店計画の特徴をまとめ魅力あるプレゼンテーションを行うことができる。 |
| 5 (本時) | ◎グループの課題を見つけ検討することができる。 ・プログラム上での出店を行い、売り上げから出版計画を再度見直す。 | ・途中経過の数値を見ながら、売り上げの予想を立て、方向修正を行うことができる。 |
| 6 (本時) | ◎グループの課題を解決するため方法を考え実行できる。 ・出版計画を改善し、プログラム上で再度シミュレーションをする。 | ・前時を振り返り、出版計画の改善を図ることができる。 |

※「起業家教育」については、この他に販売体験授業「会社をつくろう」や町商工会青年部が企画し、夏休みに実施した「駄菓子屋の販売体験『商屋』」、「多古町の物産販売（販売体験）」〔中学3年展開例〕がある。

※ p95とは別の「起業家教育」の「授業展開例①～③」を p96～ p98に掲載。

4 本時の指導 「会社をつくってみよう(ビジネス体験)」(5, 6/6)

(1) 目標

- ①グループで協力しながら出店を行うことにより、コミュニケーション能力を高める。●
- ②必要に応じて修正を行うことにより、将来を予測する能力を高める。▲
- ③グループの結果を分析し、よりよい判断ができる能力を高める。■

(2) 展開

| 流れ | 活動内容 | | |
|----------------------|--|--|--|
| | 生徒 | ゲストティーチャー | 教師 |
| オリエンテーション (5分) | ・前時までの活動を振り返りながら、本時に対する学習意欲を高める。 | ・本時の流れを説明する。 | ・前時を振り返り、本時の活動に向けた動機づけを行う。 |
| ビジネス体験プログラム (15分) | ・グループの発表に対する講評を聞き、自分たちに不足していた考えを受け入れる。○ ・コンピュータ上で出店を行い、途中経過の状況を見ながら売り上げ等の予想を立て修正を行う。▲ | ・プレゼンテーション内容の講評を行う。 ・活動が円滑に進むようにコンピュータの使い方について指示する。 | ・前時に使用したフロッピーディスク(FD)を各グループに配布する。 ・遅れているグループに対して、助言を行う。 |
| イントロダクション (10分) | ・「会社って何だろう？」という問いかけに対し、さまざまな企業についての職種の内容や特徴を知る。★ | ・さまざまな企業形態を紹介する。 | ・各グループの結果のデータ(FD)をまとめて講師に渡す。 |
| ビジネス体験 (20分) | ・振り返りチェックシートの記入を通して改善点の洗い出しを行う。☆ ・出店計画の反省をもとに、再度計画の改善を図る。▲ | ・各グループの結果の分析を行い、生徒に提示する。 | ・グループの進捗状況を確認し、遅いグループに対しては助言を行う。 |
| イントロダクション (10分) | ・参考資料「会社をつくろう」を用いてイントロダクションのまとめを行い、会社という視点で社会を考える。★ | ・さまざまな企業形態の紹介をする。 | ・コンピュータに評価を入力するための準備を行う。 |
| ビジネス体験 (20分) | ・出店の反省をもとに、再度コンピュータ上で出店を行う。■ | ・円滑に活動を行うよう改善点を指摘し助言する。 | ・各グループの進捗状況を把握し、必要な助言を行う。 |
| エンディング (10分) | ・社会生活における尺度の多様性に気づき、自分の進路についても考える。★ | ・会社がいろいろな尺度で評価できることを知らせる。 | ・各グループの結果(FD)をまとめ、ゲストティーチャーに渡す。 |
| まとめ (10分) | ・今日の学習を振り返るとともにアンケートの記入を行う。 | ・各グループの結果分析を行い、生徒に提示する。 | |

記号の意味

| | | | | | |
|---|------|-------------|---|------|-----------|
| ○ | 人間関係 | 自己理解能力 | △ | 将来設計 | 役割把握・認識能力 |
| ● | 形成能力 | コミュニケーション能力 | ▲ | 能力 | 計画実行能力 |
| ☆ | 情報活用 | 情報収集・探索能力 | □ | 意思決定 | 選択能力 |
| ★ | 能力 | 職業理解能力 | ■ | 能力 | 課題解決能力 |

協力企業：株式会社ギジネス

中学3年 授業展開例① 「案内・情報サポート隊(新聞班)」

(1) 目標

- ①授業の取材や新聞(号外)の配布を通して、コミュニケーション能力を高める。●
- ②取材をもとに新聞(号外)をつくることによって、情報の選択能力を高める。☆□

(2) 展開

| 流れ | 活動内容 | |
|---|--|--|
| | 生徒 | 教師 |
| 取材準備 (10分) | <ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに担当の場所へ行き、取材の準備をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・取材の準備ができていることを確認する。 |
| 取材開始 (60分～ 80分) | <ul style="list-style-type: none"> ・取材する授業の目標や内容を確認し、ポイントとなる事柄をメモにとる。☆ ・参観していた方に取材を行い、感想などを聞き取り、メモをとる。● ・廊下に出た参観者には、授業の途中でも取材する。● | <ul style="list-style-type: none"> ・取材するところで必要な助言を行う。 ・新聞作成に活用するために、授業の様子を写真撮影しておく。 ・廊下に出た参観者に積極的に取材するように助言する。 ・写真を印刷する。 |
| 取材終了 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業終了後、授業者、参観者、生徒の感想を取材する。● ・取材終了後、編集作業場所へ移動する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・時間を意識して取材できるようにし、編集作業場所への移動をすみやかに行わせる。 |
| 編集作業開始 (20分～ 45分) 場所 3年3組 3年4組 3年5組 | <ul style="list-style-type: none"> ・取材をもとに、編集作業を行う。☆□ ・点検や推敲を行い、担当の先生に見てもらう。 ・印刷の手伝いを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新聞のレイアウトや記事の内容の推敲を速やかに行うよう助言する。 ・記事の誤字脱字等の点検を行う。 ・印刷は教師が行い、生徒には印刷の手伝いをさせる。 |
| 新聞(号外)発行 (10分～ 20分) | <ul style="list-style-type: none"> ・新聞(号外)の配布を行う。● | <ul style="list-style-type: none"> ・適切な礼儀や応対ができるよう、生徒の活動を支援する。 |
| まとめ (5分) | <ul style="list-style-type: none"> ・編集場所に集合し、本時の活動の反省を行う。 | |

記号の意味

| | | | | | |
|---|------|-------------|---|------|-----------|
| ○ | 人間関係 | 自他理解能力 | △ | 将来設計 | 役割把握・認識能力 |
| ● | 形成能力 | コミュニケーション能力 | ▲ | 能力 | 計画実行能力 |
| ☆ | 情報活用 | 情報収集・探索能力 | □ | 意思決定 | 選択能力 |
| ★ | 能力 | 職業理解能力 | ■ | 能力 | 課題解決能力 |

中学3年 授業展開例② 「案内・情報サポート隊(説明班)」

(1) 目標

- ①自分の役割を把握し、来校者に対して適切にプレゼンテーションをする力を身につける。
△▲
- ②多古中学校のキャリア教育を来校者に説明することにより、コミュニケーション能力を高める。●

(2) 展開

| 流 れ | 活 動 内 容 | |
|--------------------|--|---|
| | 生 徒 | 教 師 |
| 準 備 (20分) | <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ等の準備をし、プレゼンテーションができる態勢を整える。 | <ul style="list-style-type: none"> ※事前にテレビやパソコンを用意しておく。 ・準備の補助をする。 ・説明内容や心構えについて、最終確認をする。 |
| プレゼンテーション (50分) | <ul style="list-style-type: none"> ・多古中学校のキャリア教育の歩み(職場体験学習、あじさい祭り、道セミナー、小中・中高交流事業の4つ)について、各グループ毎に分かれ、プレゼンテーションを行う。●△▲ ・プレゼンテーションを行った後、来校者の質問を受け付け、回答を行う。● ・自分たちの発表を振り返り、次の発表に向けた準備や手直しを行う。■ | <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所をまわり、必要に応じて助言を行う。 ※タイムキーパーの生徒用にストップウォッチを用意しておく。 ・生徒の反省をもとに問題点や課題を見つけ、必要に応じてアドバイスを行う。 |
| プレゼンテーション (15分) | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、プレゼンテーションを行う。●△▲ ・プレゼンテーションを行った後、来校者の質問に対し、回答を行う。● | <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所をまわり、必要に応じて助言を行う。 |
| プレゼンテーション (45分) | <ul style="list-style-type: none"> ・前時の反省を生かしたプレゼンテーションを行う。●△■ | <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所をまわり、必要に応じて助言を行う。 |
| ま と め (5分) | <ul style="list-style-type: none"> ・最後に本時の活動に対し、各グループ毎で反省を行い、良かった点を話し合う。○ | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の反省をもとに問題点や課題を見つけ、必要に応じて助言を行う。 |
| 後 始 末 (10分) | <ul style="list-style-type: none"> ・後始末をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・後始末の指示をする。 |

記号の意味

| | | | | | |
|---|------|-------------|---|------|-----------|
| ○ | 人間関係 | 自他理解能力 | △ | 将来設計 | 役割把握・認識能力 |
| ● | 形成能力 | コミュニケーション能力 | ▲ | 能 力 | 計画実行能力 |
| ☆ | 情報活用 | 情報収集・探索能力 | □ | 意思決定 | 選択能力 |
| ★ | 能 力 | 職業理解能力 | ■ | 能 力 | 課題解決能力 |

中学3年 授業展開例③ 「多古町の物産販売(販売体験)」

(1) 目標

- ①来校者に多古町の物産を販売する活動を通して、生徒のコミュニケーション能力を高める。
●
- ②販売状況から販売価格を設定し直すことにより、情報収集能力や意思決定能力を高める。
☆□

(2) 展開

| 流 れ | 活 動 内 容 | |
|----------------|---|--|
| | 生 徒 | 教 師 |
| 準 備 (30分) | <ul style="list-style-type: none"> ・販売の準備をする。 ・自分たちの売り上げ目標を確認する。 ・多古町の物産販売の「ちらし」を配布し、来校者に知らせる。● ・準備完了後、販売を開始する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・準備の進行状況を確認する。 ・来校者との話し方やチラシの配布の方法について、助言する。 |
| 販売活動 (50分) | <ul style="list-style-type: none"> ・販売活動を行う。● ・売り上げ状況を確認する。☆ ・販売の方法を工夫する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・販売場所をまわり、必要に応じて助言を行う。 |
| 販売活動 (15分) | <ul style="list-style-type: none"> ・販売活動を行う。● ・商品売り上げ状況を確認し、まとめておく。☆ | <ul style="list-style-type: none"> ・販売場所をまわり、必要に応じて助言を行う。 ・金銭の管理に十分に気をつけるさせる。 |
| 販売活動 (50分) | <ul style="list-style-type: none"> ・販売活動を行う。● ・他の販売場所と連絡を取り、商品の移動や価格の検討をする。□ | <ul style="list-style-type: none"> ・販売場所をまわり、必要に応じて助言を行う。 ・商品の補充・移動や価格の見直しを、一緒に検討する。 |
| 販売活動 (10分) | <ul style="list-style-type: none"> ・販売活動を行う。● ・商品移動と価格の見直しを実施する。■ ・販売個数、売り上げ額、利益等の状況を把握する。☆ | <ul style="list-style-type: none"> ・販売場所をまわり、必要に応じて助言を行う。 |
| ま と め (10分) | <ul style="list-style-type: none"> ・体育館に集合し、今日の活動を振り返り、反省を出し合う。 | |
| 後 始 末 (20分) | <ul style="list-style-type: none"> ・販売の後始末を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・後始末の状況を確認する。 |

記号の意味

| | | | | | |
|---|------|-------------|---|------|-----------|
| ○ | 人間関係 | 自他理解能力 | △ | 将来設計 | 役割把握・認識能力 |
| ● | 形成能力 | コミュニケーション能力 | ▲ | 能 力 | 計画実行能力 |
| ☆ | 情報活用 | 情報収集・探索能力 | □ | 意思決定 | 選択能力 |
| ★ | 能 力 | 職業理解能力 | ■ | 能 力 | 課題解決能力 |

多古町立多古中学校